

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	柳川 博	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

下記のテキストや参考書の内容報告とディベートを通して、人口が急減する我が国の経済や社会の問題点を析出し、我が国の高度成長期との比較や国際的な比較を行い、課題解決に至る道筋を展望する。

● 到達目標

現在の日本と国際経済が直面する課題を複眼的・論理的に把握する能力を養う。
 新たな課題を発見し、関連するデータや最新の情報を収集・分析し、その課題を解決する能力を高める。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：ゼミの進め方・課題発見と解決の方法
- 2週目 経済学と人口問題（その1：学説史的検討）
- 3週目 経済学と人口問題（その2：理論的検討）
- 4週目 人口減少と日本経済：超高齢社会と社会保障
- 5週目 人口減少と日本経済：「地方消滅」の危機
- 6週目 人口減少と日本経済：人口動態の歴史的経過
- 7週目 人口減少と日本経済：高度成長の時代
- 8週目 イノベーションの役割
- 9週目 AIとITは人間の仕事を变えるか
- 10週目 「第3次産業革命」とインダストリー4.0
- 11週目 日本と世界の出生率の推移
- 12週目 国民皆保険の意義
- 13週目 経済格差の問題点
- 14週目 GDP再考
- 15週目 人間社会と経済成長
- 16週目 総括討論

● 準備学習(予習・復習)等の内容

報告が予定されるテキスト該当部分を精読し、疑問点や課題を析出しておくこと。ゼミ終了後はディベートで導出された新たな課題や問題点の解決策を検討する。関連する参考資料・参考文献はCoursePowerに掲載するのでその都度確認すること。予習と復習は、各週それぞれ2時間以上が必要である。

● 成績評価の方法・基準

レジュメに基づいたプレゼンテーションを2回とレポート提出を求める。成績については、プレゼンテーションとレポートの内容を70%、ディベートへのコミットメントを30%として評価する。

● 履修上の留意点

司会者、報告者、総合討論者を輪番で担当し、プレゼンテーションとディベートを通して課題の発見学習と問題解決学習を進める。担当するそれぞれの役割に応じた準備を行ってゼミに臨むこと。無断欠席は認めない。連絡事項はCoursePower上で行うので、その都度確認すること。「オフィス・アワー」を利用して思考を整理してみよう。

● 課題に対するフィードバックの方法

報告用のレジュメは必ず事前に提出し、内容の検討を行う。新たな課題に関するレポートはコメントを付して返却する。

● テキスト

吉川 洋『人口と日本経済』（中公新書）760円 +税

● 参考書

末廣 昭『新興アジア経済論』（岩波書店）
 吉川 洋『高度成長』（中公文庫）
 増田寛也『地方消滅』（中公新書）
 必要に応じてCoursePower上で紹介する。

● 更新日付

2020/03/04 09:30